

Rotary International 2025-2026 会長 フランチェスコ・アレツツォ	丸亀東ロータリークラブ
国際ロータリー第2670地区 ガバナー 織田 英正（高知南RC） 「地域密着のロータリーを目指そう」	
	会長 塩野 拓二 幹事 黒木 五朗

2025年7月8日(火)

2025-2026年度 第51年度 第2回 通算第2379回例会

- 新入会員（3名様）の紹介と挨拶と入会祝品の贈呈



* 左から

(有)ひかり工芸

代表取締役 北村 満 様

(株)味彩

代表取締役 平井邦宏 様

ブルアップダンススタジオ

代表 田中桃子 様

【プログラム】客 話 〔三浦聖人ガバナー補佐〕（観音寺RC）

私が社長に就任しましたのが47歳（2003年）の時で、その2年後にロータリークラブに入会させて頂きました。社長になって早22年経ちましたが、この22年間についてお話しをさせて頂きます。

社長に就任したきっかけは、恥を忍んで申し上げますと私どもの愛媛地区の支店で5億円の横領が発覚しまして当時の社長が責任を取り辞任致しました。

社長からは「誰が社長になって解決するのか！！」と言うことになり、その当時、役員は6名いましたが皆さん辞退されて、一番若い私が推されて社長に就任することになりました。

愛媛地区の事件ですから、西条の検察庁に呼び出されて、最初に言われた言葉が「5億円の横領は、四国で一番です」と言われました。

ところが、そんな不名誉なタイトルも、翌年、四国で10億円の横領が発覚して、1年もしない間に、抜かれることになりました。

社長にになって、その横領事件を解決していくわけですが、被害者が37名いらっしゃって一般の企業であれば、「ごめんなさい」をして、代理弁済すれば、事はあっさり済み



ますが金融機関の場合は、そう言うわけにはいきません。

一人一人精査して、そこに、損失補填が紛れ込まないよう厳格に処理し、当局に確認申請を提出して、許可を頂いてからの代理弁済となります。

その作業には大変な手間がかかりました。当時の当社の社員の陣容からすると大変で、私が昼は社長業をし、夜はその書類を作成することになりました。

休みなしの毎晩11時まで、一人で会社に残り黙々と、書類を作り続けました。

事件が発覚したのが、2月14日のバレンタインデーの日でしたが、ほぼほぼ解決したのが5月の株主総会で、この間3か月は、正に、出口の見えないトンネルに入った状態で精神的にも追い込まれる時があり、夜中に胸が苦しくなり、救急車を呼ぶ寸前までいくこともありました。

そうなりながらも、何とか続けられたのは、多くの応援の声が会社が届いていたからです。中でも84歳のご高齢の奥様からの手紙には心を打たれました。今でも読み返すと涙ぐみます。「三浦さんの笑顔をもう一度見たい。きっと三浦さんのことだから、この難局を乗り越え、会社を更に大きくすると確信しています」と、そんな内容でした。

今振り返っても、あの地獄のような状況からよく乗り越えたと思いますが、あらためて苦しくても「命」があれば、何とかなるものだと思っています。

社長になってから、リーマンショックをはじめ、色々難問がありましたが、乗り越えてこられたのも、社長になった最初に、そう言う、洗礼を受けたお陰で、今日があると実感しています。

今は、社員から「社長、大変です」と駆け込んできても「その案件は、命を取られるぐらいの案件ですか」と言うのが私の口癖になりました。

そして、ロータリークラブに入会したのが49歳になる年で（2005年1月6日）

今年でロータリー歴20年となります。

30歳で今の証券業界に入りましたので、社長になるまでの20年間は、仕事一筋で、青年会議所からも何度もお誘いがありましたが、お断りしました。地元の会合にも、積極的には参加しなかったもので、地元の横のつながりはありませんでした。

社長になった時に、ライオンズさんからもお誘いがありましたが、丁度、横領事件の解決に忙殺されていたので、丁寧にお断りしました。

社長になった翌年、横領事件も解決した頃に、加ト吉の「栄和会」と言う協力会社の会から中国の研修旅行のご案内を頂きました。

そして、研修旅行のスケジュールを見ると、行程の中に、西安の兵馬俑の見学がありました。以前から、秦の始皇帝陵の兵馬俑には大変興味がありましたので、是非、この眼で見たいと思い参加することにしました。

そして、この研修旅行に、観音寺ロータリークラブの方が多数おいでて、地元で横のつながりがない私が新鮮に見えたのか、皆さんからお声をかけて頂きました。

そして、その方々が、「会社に遊びに行ったらいいか」と言われまして、帰国してから、ロータリーの方が次々と、会社に見えました。

そして、3週間ぐらいたった時に、当社の本社ビルの電気設備を請け負ってくれた久保電機の久保社長が、見えられて「三浦君、ロータリーに入る審査に見事パスしたから」

と言われました。どうも、皆さん入会させて良いのか、品定めに来られていたようです。お陰でロータリークラブを無事に入会する事が出来ました。

後で分かったのですが、久保社長がその年の会員増強委員会の委員長でした。

そして、ロータリークラブに入会した翌年(2006年9月20日)のことです。

せっかくRCに入ったので日本で一番の東京ロータリーにメイクアップに行こうと思いホームページの「例会プログラム」でチェックしました。そうすると、なんとアメリカのクエール元副大統領が来日して客話をする例会を見つけました。

客話のお題は「Global Business & Politics」です。(海外の取引と政治)

早速、予約をしてメイクアップに参りますと、円卓で、お接待してくれたのが、なんと**サントリーの佐治信忠会長**でした。

右隣が、**ニコンの相談役 吉田庄一郎氏**／翌年に 私の履歴書 で連載

左隣が、**国際協力銀行 副総裁の田波耕治氏**／もと腕利きの大蔵官僚の方

円卓全員と名刺交換をさせて頂きましたが、皆さんそうそうたるメンバーでした。

因みに、その当時のビジター費は、同時通訳のイヤホーン料込みで4千円でした。

現在のビジター費は、第二週が7000円、後の週が6000円です。

ビジター費は少々お高いですが、メイクアップに行く価値はあります。

そして、ロータリークラブに入会して11年目に地区のお役目を頂くことになります。

坂出東RCの前田先生から当時はガバナーエレクトでしたが、お電話を頂きまして

「友誌の地区代表になってくれますか？」と言う話でした。

その当時、前田先生とは、それほど深いお付き合いがあったわけではなかったので、最初は「なぜ？」と思いました。

心当たりとしては、私のFacebookをいつも見られていたので、Facebookから私の行動や人柄を知って頂き、その点が気に入られたのかなぁ～と勝手に思っています。

しかしながら、急な話でもあり、私も心配して「どんな内容の仕事ですか？今まで地区の仕事もしていないので、勤まるかどうか、自信ありません」と言いますと、**返ってきた返事が「大丈夫、年に2回、東京に行くだけだから」**と言われまして「それなら、楽な話だ」と思い引き受けました。

ところが、蓋を開けると、年に2回東京に行けば済む話ではなく、毎月、早めに送られてくる「友誌」をすべて読み、感想をレポートに提出すると言う、毎月の宿題が課せられていました。そして提出したレポートは、34地区にそれぞれ送られて、地区の主だった方々の目に触れることになります

私のレポートを見られた、ある地区の代表の方が、「三浦さんのレポートが34地区の中で**一番短い**」と、注意されたこともありましたが、何とか、3年間無事に務めさせて頂きました。

普通委員会は単年度制で各地区の選ばれた34人は毎年変わりますが、3年連続で再任されたこともあり、**退任時には34人を代表して、感謝状を頂きました。**

3年間務めたお陰で、友誌のスタッフや野崎編集長とは、仲良くなり、今でも困ったときにはお電話を頂きます。昨年、編集長からお電話を頂き、「三浦さん、友誌の「この人を訪ねて」の記事で、どなたか推薦してくれませんかと言われまして、真っ先に高松

北RCの**七篠光子さん**の名前を上げさせて頂きました。推薦した一番の理由は、一昨年の徳島の地区大会で初めてお会いした時に、**彼女の身のこなし、所作の美しさ**に、この方はただ者ではないなあ〜と感じたからです。昨年の「友誌 11月号 の この人を訪ねて」を読まれていない方は是非、この機会に読んで頂いたらと、思います。この2670地区にこんな素晴らしい女性がおいでなのだと、新しい発見をすると思います。

そして、**3年前の八田ガバナー**の時に、他の地区では、既に「公共イメージ向上委員会」なるものがあって、積極的にロータリークラブをアピールしているので、2670地区でも委員会を発足するという話が持ち上がり、これも前田パストガバナーからご連絡があり「**三浦君に、うってつけの委員会が新設されるから、初代の委員長ね**」と半強制的に指名されました。

初めて発足する委員会ですから、まずは、**委員会を知って頂く**ことが大事なので、地区全体で参加する企画を打ち出しました。

それが「四国八十八か所ポリオ根絶祈願」だったわけです。

ところが、全クラブに企画の実施のご案内を、送った時に、すぐさま、「**我がクラブは、全員一致で反対する。**」という手厳しいメールが届きました。

その理由は「四国八十八か所祈願は当クラブの一貫として守ってきた政治と宗教は絶対にロータリー持ち込むべきではないとの考えに反するものであるので、反対する。」

という内容でした。

多少の反対は覚悟していましたが、やはり直接、抗議のメールを受け取ると、心が折れました。

すぐさま、委員会のメンバーに「**RCのメンバーは、皆さん一国一城の主なので、価値観が違うのも当たり前、反対意見も出てくるでしょう。前途多難ではありますが、悪かった点は、素直に反省して次に活かしていけば良いと考えていますので、引き続きご協力をお願いします**」と言う、メールを発信して、結束をうたいました。

お陰で、その件があったので、メンバーがまとまった気がします。

以上が簡単ですが、私が社長になり、そしてロータリアンとして歩んで来た22年間です。

最後になります。**私の人生訓を紹介**して終わりにします。

私の人生訓は「**足るを知る**」です。

ご存知、古代、中国の思想家「**老子**」の教えですが「**人の欲求と言うのはきりが無い。今おかれている立場や環境に感謝して、そして努力を怠らない**」と言うことです。

私が社会人になってからの47年間を振りかえってみると、この人生訓に沿った生き方だったと思います。

「**社会**」も「**職場**」も、**いつも自分の思い通り運ぶものではありません。**

今の自分の置かれた立場に感謝することで、周りのことを冷静に見ることが出来ます。

そして、常に起こってくることには前向きに捉え、努力を怠らない。

こういう気持ちで引き続き、頑張って参りますので宜しくお願い致します。

● クラブアッセンブリー



【本日のニコニコ】

☪☪ 丸亀東ロータリークラブ様。本日は宜しくお願いします：三浦 聖人 ガバナー補佐様

☪ 三浦聖人ガバナー補佐をお迎えして

：塩野 拓二 会長

☪ 三浦聖人ガバナー補佐をお迎えして

：黒木 五朗 幹事

☪ 三浦聖人ガバナー補佐をお迎えして

：岡 千枝 様

☪ 短期交換学生歓迎会を無事終えて

枝園さんにお世話になり、ありがとうございました。

：塩野 拓二 会長

☪ //

：黒木 五朗 幹事

☪ //

：宮武 正治 国際奉仕委員長

☪ //

：木村 義正 様

☪ ワインを購入して

：原 将嘉 様

☪ ワインを購入して

：塩田 寿 様

☪ ワインを購入して（2本）

：岡 千枝 様

☆ 短期交換学生が木村さん宅にて茶道を体験されました。



【来訪ロータリアン】（1名）

㊦ 三浦聖人 ガバナー補佐様（観音寺RC）

【メイクアップ】（なし）

【出席報告】 第2379回例会

＜7月8日(火)例会分＞

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
42名	1名	41名	28名	13名	68.29%

第2377回例会

＜6月24日(火)納会・岡山後楽園RCとの親睦夜間例会分＞

会員総数	出席免除会員数	出席計算会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率
41名	1名	40名	28名	12名	70.00%

【7月15日(火)の例会】 役員委員長就任挨拶

【7月22日(火)の例会】 会員卓話（出席委員会）氏家正俊委員長

四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

MARUGAME EAST ROTARY CLUB

例会場 オークラホテル丸亀 ☎23-2222
〒763-0011 丸亀市富士見町3丁目3番50号

事務所 オークラホテル丸亀430号室

TEL(0877)21-6611 ; FAX(0877)21-6655
E-mail ; merc@soleil.ocn.ne.jp

例会日 毎週火曜日 PM12:30～PM1:30

<http://www.marugame-east-rc.com>